

2024年取組一覧(アジア)

ラオス	日本企業の投資ネットワークングレセプション①
ラオス	日本企業の投資ネットワークングレセプション②
ラオス	日本企業の投資ネットワークングレセプション③

【人脈形成・情報収集】 日本企業の投資ネットワーキングレセプションの開催(ラオス)

実施日: 令和6年2月27日
主催(共催): 在ラオス日本大使館
協力: JETROビエンチャン事務所

【背景】

JETRO「ラオス農業投資ミッション」において、ラオスの市場開拓に関心を持つ農業を中心とした日系企業や在ラオス日本企業が集まり、首都ビエンチャンや南部のチャンパサック県、セコン県、サラワン県のボラベン高原の企業や農場を訪問する機会に、進出済日系企業をはじめ、ラオス政府高官やラオス国立商工会議所会頭とのビジネスネットワーキングレセプションを小林大使の公邸で開催。

【在外公館の対応】

在ラオス大使館は、ミッション参加企業であるラオスへ進出を検討する日本企業及び事業拡大を目指す進出済日本企業7社8名を中心に、ラオスの投資環境をはじめ、生活や商習慣など進出に際しての情報収集、ラオスのビジネス政府関係者やビジネス関係者との人脈構築が可能となるよう、ラオス日本人商工会議所の会員企業、マライトーン商工業大臣等ラオス政府関係者、ラオス国立商工会議所、ラオス企業、ラオス中小企業組合等、幅広い組織の代表者、総勢40名を大使公邸に招いてネットワーキングレセプションを実施。レセプションでは、ミッション参加企業より自社紹介のプレゼンが行われたほか、他用務によりやむなく欠席となった小林大使の代理として中野公使より日系企業とラオス企業の継続的な関わりと両国の経済発展についての期待が述べられた。

【結果・評価】

普段接触する機会が少ない組織、企業が一同に介し、参加者間で積極的な人脈構築が図られた。また、ミッションやネットワーキングのなかでラオス企業との間で20件の商談が実施され、9件の成約見込み(金額ベースで1,200万円)が出るなど、参加者からは有益な結果が出たとのフィードバックがあったほか、ラオスに対しポテンシャルを感じたなどの声が聞かれた。

在ラオス大使館



【人脈形成・情報収集】

日本企業の投資ネットワーキングレセプションの開催(ラオス)

実施日： 令和6年8月26日
主催(共催)：在ラオス日本大使館
協力：JETROビエンチャン事務所

在ラオス大使館

【背景】

JETRO「ラオス製造業投資ミッション」において、ラオスの市場開拓に関心を持つ製造業を中心とした日系企業や在ラオス日本企業が集まり、首都ビエンチャンや南部のチャンパサック県の企業や経済特区、ドライポートといった物流拠点等ラオスにおけるビジネスの重要なポイントを訪問する機会に、進出済日系企業をはじめ、ラオス政府高官やラオス国立商工会議所会頭とのビジネスネットワーキングレセプションを小泉大使の公邸で開催。

【在外公館の対応】

在ラオス大使館は、ミッション参加企業であるラオスへ進出を検討する日本企業及び事業拡大を目指す進出済日本企業7社8名を中心に、ラオスの投資環境をはじめ、生活や商習慣など進出に際しての情報収集、ラオスのビジネス政府関係者やビジネス関係者との人脈構築が可能となるよう、ラオス日本人商工会議所の会員企業、マライトーン商工業大臣等ラオス政府関係者、ラオス国立商工会議所、ラオス企業、ラオス中小企業組合等、幅広い組織の代表者、総勢40名を大使公邸に招いてネットワーキングレセプションを実施。レセプションでは、ミッション参加企業より自社紹介のプレゼンが行われたほか、小泉大使より日系企業とラオス企業の継続的な関わりと両国の経済発展についての期待が述べられた。

【結果・評価】

普段接触する機会が少ない組織、企業が一堂に会し、参加者間で積極的な人脈構築が図られた。参加企業のうち、2～3社が具体的な投資先として本格的なラオスの調査を開始しており、また1社は既に2回ほどラオスに来ているなど投資に繋がる成果があがっている。ミッションやネットワーキングに参加した企業からはラオスに対しポテンシャルを感じたなどの声が聞かれた。



【人脈形成・情報収集】

日本企業の投資ネットワーキングレセプションの開催(ラオス)

実施日: 令和6年10月30日

主催(共催): 在ラオス大使館

協力: JETROビエンチャン事務所

在ラオス大使館

【背景】

JETROによる「ラオス脱炭素ソリューションビジネスミッション」のラオス訪問の機会を捉え、在ラオス日本国大使館主催にて、進出済日系企業をはじめ、ラオス政府高官やラオス国立商工会議所、ラオス企業とのビジネスネットワーキングレセプションを大使公邸で開催。



【在外公館の対応】

在ラオス大使館は、ミッション参加企業である日本企業約10数社を中心に、ラオスの投資環境をはじめ、生活や商習慣など進出に際しての情報収集及びラオスの政府関係者やビジネス関係者との人脈構築が可能となるよう、ブンカム天然資源環境大臣、マライトン商工業大臣等ラオス政府関係者、ラオス国立商工会議所、ラオス企業、ラオス日本人商工会議所の会員企業等、幅広い組織の関係者、総勢約70名を大使公邸に招き、ネットワーキングレセプションを実施。レセプションでは、ミッション参加企業より自社紹介が行われたほか、小泉大使より日系企業とラオス企業の継続的な関わりと両国の経済発展についての期待が述べられた。



【結果・評価】

普段接触する機会が少ない企業が一堂に会し、参加者間で積極的な人脈構築が図られた。今回のミッションでは参加企業による積極的な商談が行われ、投資に繋がる成果もあがっている。ミッションやネットワーキングに参加した企業からはラオスに対して脱炭素分野でのポテンシャルを感じたなどの声が聞かれた。

